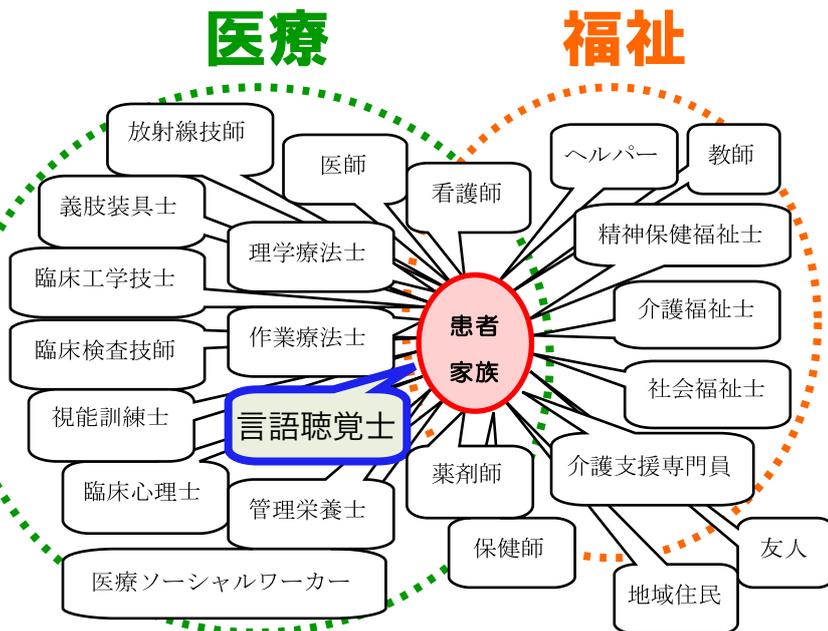


言語聴覚士について紹介します

長野県言語聴覚士会

リハビリテーションとは？

リハビリテーションとは、病気や事故、加齢、生まれつきの発達上の問題などで心身に障害を持った方たちに、可能な限り障害の軽減を図り、自分らしい生活を実現できるように支援をしていくものです。リハビリテーションは患者さんやご家族を中心に、医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの医療専門職、ケースワーカー・介護福祉士・介護支援専門員などの保健・福祉専門職、教育・心理専門職などと連携し、チーム一丸で行われます。



リハビリテーションチーム

言語聴覚士とは？

言葉を使って人とコミュニケーションをとること、食事を美味しく食べること・・・いずれも生まれた時から、人間が人間らしく生きていくためにとても大切なことだと言えます。

言語聴覚士は、そんな人間にとって必要なことであることばや聞こえ、食物を口から食べることに障害を持つ方たちのリハビリテーションを行う医療・福祉における専門家で、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々を担当します。同じリハビリテーションの仲間である理学療法士や作業療法士と比較して国家資格に制定されたのが1997年とほかの分野よりも比較的新しい領域の職種です。2019年3月現在、有資格者数は約32,863名となり、**県内にも約360名の言語聴覚士がいます。**

一見、多いように見えますが、全国には言語聴覚士を必要とする方たちが一説には約600万人いると言われており、まだまだ十分なりハビリテーションを提供できる言語聴覚士の数は少ない状況にあります。また、高齢化によって言語聴覚士を必要とする方々はますます増加すると考えられており、言語聴覚士へのニーズは今後より一層高まっていくことが予測されます。



言語訓練の様子